

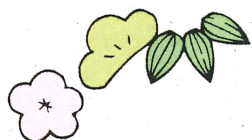


八頭町立郡家東小学校 学校だより
ふるさとを愛し 志を立て 自立して生きる児童の育成



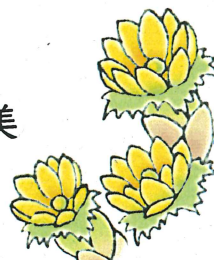
輝く瞳をもつ子供

第11号 R6. 1. 9
八頭郡八頭町稲荷310番地
TEL 0858-73-0010
FAX 0858-73-0011
E-mail
kogee-e@mailk.torikyo.ed.jp



志を立てる

盛田里美



新たな年を迎えました。「志を新たに今年もがんばろう」と思い迎えた元日でしたが、突然の能登半島地震に驚き、「今わたしたちにできることは何なのか」を考え続ける年の始まりとなりました。被災された皆様に一日も早く平穏な日々がもどることをお祈りいたします。

学校教育目標「志を立て」は、「自分のよさを生かし、世のため人のためになる生き方を志す」ことをめざしています。105歳の命を全うされるまで現役医師として活躍された日野原 重明氏は、小学生に向けた命の授業の中で、『若いうちは自分の可能性を伸ばす勉強への「投資」が大切。成長後の人生は「社会のため」に生きるべき。難民や病気の人々などを支援していくことも大切なことであるが、それだけではなく、普段の生活をどうやって充実させるかも大切な命の使い方であり、それが他者との関わりにつながり、社会のためになるのだ。』と、願いを託されました。さらに「社会のために生きる」提言として、哲学書や文学、伝記を読むことや先生や先輩、友人たちとの出会いからモデルとなる人を見つけ、まねて学ぶことの大切さを述べていらっしゃいます。今年の全国高校サッカーで、石川県代表星陵高校の応援をする神奈川県の高校生の姿は、「自分のよさを生かし、世のため人のために」という生き方のモデルそのものだと思いました。



子供たちが、「世のため人のためになる生き方を志す」ことができるよう、今一度「整理整頓・あとしまつ」「立腰」「廊下歩行」など、発達段階に応じていてねいに指導をしていきたいと思えます。自らを律し心が整えば、普段の生活を充実させることができ、広い社会に目を向けた行動をすることができる人となります。小学校生活最後の学期を迎えた6年生の3学期のキーワードは「挑戦」と「感謝」です。この2つを心にとめて生活をする6年生の姿は、必ずや下級生にとってのよきモデルとなりよい校風をつないでいくことになるでしょう。「輝く瞳」の集大成となるよう、応援したいと思えます。

学年の締めくくりとなる3学期も、教職員一同子供たちのために精一杯努めてまいります。引き続き保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

